

令和 3 年度
兵庫教育大学大学院同窓会総会
第 40 回
全国研究大会【北海道大会】

「共生社会を生きる子どもたちの学びと未来を創る」



主催 兵庫教育大学大学院同窓会
主管 兵庫教育大学大学院同窓会北海道支部
共催 兵庫教育大学学校教育学部同窓会
会期 令和3年7月31日(土)
会場 ホテルライフオーツ札幌およびオンライン
〒064-0810 札幌市中央区南10条西1丁目 中島公園前
電話 011-521-5211

第40回 兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会【北海道大会】

大会テーマ 「共生社会を生きる子どもたちの学びと未来を創る」

主 催 兵庫教育大学大学院同窓会

主 管 兵庫教育大学大学院同窓会北海道支部

共 催 兵庫教育大学学校教育学部同窓会

会 期 令和3年7月31日（土）

会 場 ホテルライフオート札幌およびオンライン開催

〒064-0810 札幌市中央区南10条西1丁目 中島公園前 電話 011-521-5211

日 程

7月31日（土）

12:10～13:00 受付（会場参加の方のみ）

13:00～13:50 大学院同窓会総会

13:50～14:20 北海道大会開会行事

14:20～14:50 教育実践研究活動等にかかる表彰

15:00～15:30 学長挨拶及び講話 加治佐哲也学長

15:30～16:20 教育実践発表 傳法谷肇氏、森万喜子氏

16:20～17:50 記念講演

「“居場所”を届けて ～君の椅子プロジェクトの16年～」

講師 磯田憲一氏

公益財団法人北海道文化財団理事長

17:50～18:00 北海道大会閉会行事

目 次

総会次第	1
会長挨拶	2
総会議案	3
令和2年度退任役員	17
全国研究大会次第	18
実行委員長挨拶	19
教育実践等に係る表彰受賞者	20
学長講話	21
教育実践発表	22
記念講演会	24
大学への寄付のお願い	25

令和3年度 兵庫教育大学大学院同窓会総会

令和3年7月31日（土） 13:00～
於 ホテルライフオート札幌・オンライン

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - 1号議案 令和3・4年度役員
 - 2号議案 令和2年度事業報告
 - 3号議案 令和2年度第39期会計決算報告
 - 4号議案 令和3年度事業計画
 - 5号議案 令和3年度第40期会計予算案
 - 6号議案 同窓会規約の一部改訂
4. 同窓会活動に係る感謝状贈呈
5. 第41回総会・全国研究大会【愛知大会】開催予告
6. その他
7. 閉会

大学院同窓会の生き生きとした活動を目指して

兵庫教育大学大学院 同窓会長 新居 寛

同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。会長職 2 期目として本部役員会で選出されました新居 寛（自然系 2 期）でございます。ひとこと御挨拶を申し上げます。

まずは、同窓会の基礎を築いてくださった歴代会長はじめ役員の皆様のこれまでのご尽力に対しまして心から感謝申し上げます。私といたしましても、これまでの会長が築かれた基礎を大切に、さらに同窓生にとっても、また母校にとっても同窓会が必要不可欠な存在となるよう、新役員一同心を一つにして同窓会を発展させて参る所存です。この決意にいささかの揺るぎもなく 2 期目も取り組んでまいります。

これまで本学創立以来、日本の教育を代表する学術の専門性、実践において常に注目され、高い評価を受けてきました。資料にありますように、修了生の 7 割以上が、全国の教育現場で管理職や大学の教員となっており、まさに、兵庫教育大学大学院の修了生が日本の教育を支えているといっても過言ではありません。そして、教職大学院の先陣を切り、教育諸課題に関する難局を乗り越えるべく、教育のトップリーダーとしてさらに邁進しています。

同窓会といたしましても、同窓会の機能や同窓生のネットワークを存分に活用し、母校発展と社会貢献の一翼を担いたいと考えています。特に以下の四点に重点を置き、同窓会活動を推進していくつもりです。

まず、第一に、変化の激しい時代に柔軟に対応できる学び続ける同窓会、同窓生であるということです。第二に、大学に貢献できる同窓会であるために、毎年、全国大会を開催し、兵庫教育大学の教育活動、教育推進を支援するとともに、大学の認知度をさらに高めることです。第三に、同窓生の中から立派な研究実践されている方を表彰し、活用することです。本日も、北海道大会で地元での実践活動を発表してくださることになっております。そして、四点目は、会則や各部の動き、ブロック体制の見直しなどを含めて検討し、新たな指針と具体策を示して速やかに実行していくことで同窓会をさらに活性化していくことです。しかし、これらの目標の達成は役員だけではできません。皆様のお力添えが不可欠です。同窓生の皆様におかれましても、これまで以上に同窓会の活動に関心を持っていただき、主体的かつ積極的に参画していただけますよう心からお願い申し上げます。

この 2 年間は、臨機応変な対応、時として場当たりの対応ととられかねない危なっかしい舵取りをしてまいりました。就任当初の 4 つの重点も思うようになりませんでした。就任半年後から、新型コロナという未知のウイルスが世界中で猛威をふるい同総会活動の妨げとなりました。そんな中で、リモート会議、メール会議等で活動を継続してきました。これからはしばらくの間はこのような対応を余儀なくされるでしょう。専横な行動を厳に慎み小さな改革を積み重ねてまいります。よろしく申し上げます。

最後になりましたが、本日、ご公私ご多用の中、加治佐学長様はじめ、大学の役職員の皆様にご来賓としてご参加いただきましたことに深く感謝申し上げます。どうぞ、我々兵庫教育大学大学院同窓会に、今後ともお力添えいただきたく存じます。

本日の 2 年越しの全国研究大会が成功裏に終わりますよう、ご協力よろしくお願いたします。これを持ちまして、ご挨拶といたします。

令和3・4年度 兵庫教育大学大学院同窓会役員（案）

会 長	新居 寛（兵庫）				
副 会 長	専門部長代表 船本秀忠（兵庫）		ブロック長代表 渡邊哲郎（山口）		
専門部長	組織部長 玉木 隆（岐阜）	総務部長 船本秀忠（兵庫）	研究部長 大前泰彦（和歌山）	会計部長 佐々木勇（岡山）	広報部長 大畑和典（広島）
相 談 役	武 泰稔（岡山）	酒巻成欣（大阪）	吉田 廣（兵庫）	山下 裕（広島）	
	大橋 博（兵庫）	川村庸子（岩手）			
監 事	監事長 北山鎮道（岡山）	監事 田中嘉明（兵庫）	監事 中園大三郎（大阪）	監事 毛利直巳（島根）	
事務局長	菅野 恭介（兵庫）	院生協代表	前期会長	後期会長	
ブロック	理事				
	ブロック長	副ブロック長			
北海道・東北	小山文明（岩手）	水野和男（北海道）	糊澤 実（北海道）	千田健一（宮城）	村石好男（宮城）
関東	清水政義（東京）	小川 孝（埼玉）	松尾 鉄城（埼玉）	野田不二夫（東京）	荒井 豊（埼玉）
			向井 隆盛（埼玉）		
中部・東海 （組織部）	幸脇直久（岐阜）	梶原正史（山梨）	玉木 隆（岐阜）	森 社（岐阜）	下條英子（福井）
			勝俣得男（静岡）	山田達夫（静岡）	
近畿① （総務部）	尾崎文雄（兵庫）	横内 恵（兵庫）	船本秀忠（兵庫）	笠沙敏彦（京都）	五百住満（兵庫）
			北村純一（兵庫）	岡みゆき（兵庫）	菅野恭介（兵庫）
近畿② （研究部）	雲井 稔（大阪）	徳永加代（大阪）	村田卓生（大阪）	井上温子（大阪）	和田博之（大阪）
			松田雅代（大阪）	上田 幸司（大阪）	
近畿③ （研究部）	岸本秀章（奈良）	大前泰彦（和歌山）	山中賢司（奈良）	唐錦秀和（奈良）	西端幸信（和歌山）
東中国・四国 （会計部）	鷲見寛幸（鳥取）	野村ゆかり（高知）	佐々木勇（岡山）	藤原彰二（鳥取）	小田幸伸（岡山）
			後藤陽三（愛媛）	門屋 浩（愛媛）	
西中国 （広報部）	渡邊哲郎（山口）	津田和也（広島）	大畑和典（広島）	藤原尚幸（島根）	勝田 章（島根）
			兼房高広（広島）	波佐間 清（山口）	
九州・沖縄	草場聡宏（佐賀）	船津勇一（大分）	藤本岳大（福岡）		

※青字は新任役員

支 部 代 表

北海道	水野 和男	兵 庫	横内 惠
青 森	西澤 亨一		船本 秀忠
岩 手	山本 勉		菅野 恭介
宮 城	渥美 寿彦	大 阪	村田 卓生
秋 田	高橋 正規		井上 温子
山 形	本田 礼		和田 博之
福 島	人選中	奈 良	岸本 秀章
茨 城	吉田 重郎	和歌山	西端 幸信
栃 木	駒田 郁夫	鳥 取	藤原 彰二
群 馬	青木 雅夫	岡 山	小田 幸伸
埼 玉	小川 孝	徳 島	田村 明敏
千 葉	牧 雅英	香 川	野島 悟
東 京	野田不二夫	愛 媛	清田 公典
神奈川	児玉 祥一	高 知	野村ゆかり
新 潟	碓井 欣一	島 根	毛利 直巳
富 山	人選中	広 島	津田 和也
石 川	林 信行	山 口	渡邊 哲郎
福 井	下條 英子	福 岡	藤本 岳大
山 梨	梶原 正史	佐 賀	草場 聡宏
長 野	猪瀬 洋一	長 崎	平戸 健吉
岐 阜	松村 敏幸	熊 本	八間川隆彦
静 岡	神尾 義敬	大 分	西山 和孝
愛 知	鈴木 均	宮 崎	後藤 世志哉
三 重	大森 雅彦	鹿児島	松山 武史
滋 賀	西谷 淳	沖 縄	津留 一郎
京 都	大森 直也		

※明朝体は前ページ役員等との兼務

※青字は新任支部代表

令和2年度兵庫教育大学大学院同窓会 事業報告（案）

※文書およびメール会議の期日は主に資料等の送付日、会議等の後の [] は会議の形式または場所

年月日	全体行事・専門部等事業	大学との連携事業
R2. 6月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 新型コロナウイルスへの対応 <6月> ・R1 全体会計監査→文書監査 ・R2 定例役員会→メール会議 <8月> ・R2 総会・全国研究大会→中止(北海道大会は R3/7/31(土)に延期 役員感謝状→送付 表彰→R3 北海道大会に延期 </div> 3(水) 第38期会計決算報告(案)作成 3(水) 第39期会計予算(案)作成 14(日) 全体会計・会計部監査(文書監査) 19(金) 定例役員会[文書およびメール] 下旬 教育実践研究論文集編集	25(木) 修了生・卒業生連携センター会議① (以下「センター会議」と記述) [メール] 25(木) R2 共同研究採択者決定(6件/6件) (再募集を決定)
7月	30(木) 退任役員への感謝状・記念品送付 30(木) 教育実践研究に係る表彰状・記念品送付	10(金) 修了生に同窓会報等送付(約8,300人) 31(金) R2共同研究(再募集)締切
8月	18(火) 教育実践研究論文集発行・Web掲載 上～中旬 同窓会報編集計画, 記事収集	17(月) R2共同研究(再募集)採択決定 (6件/15件)
9月	30(水) R2ブロック・支部助成金申請期限(後期)	下旬 大学院同窓会研究助成金の採択審査 30(水) センター会議② [加東C]
10月	9(金) R2予算配分委員会(後期) [メール]	7(水) 共同研究論文集「学校教育コミュニティ 下旬 第10号(電子版)」発行・Web掲載 共同研究論文学術情報リポジトリ登録
11月	7(土) 本部役員会 [ZOOM] 中旬 同窓会入会案内(入学者向け)冊子作成	
12月	10(木) 院生協R2後期総会/事務局長出席 11(金) ブロック・支部活動状況調査 12(土) 役員選考委員会 [ZOOM]	初旬 「同窓会入会案内」送付(入学予定者)
R3. 1月	初旬 都道府県別大学院同窓会会員名簿の作成	
2月	初旬 ブロック・支部活動状況調査まとめ 20(土) 役員選考委員会 [ZOOM] 20(土) 本部役員会 [ZOOM]	17(水) 大学院同窓会研究助成金による研究成 20(土) 果発表会/事務局長出席 大学院同窓会会議 [ZOOM]
3月	16(火) 同窓会報(第45号)発行 23(火) 学位記授与式/来賓の出席は中止 /教育実践研究論文集, 同窓会報等配布 31(水) R3表彰推薦書・論文提出期限	23(火) センター会議③ [メール]
4月	5(月) 入学式/来賓の出席は中止 /教育実践研究論文集, 同窓会報等配布 6(火) 被表彰者選考委員会 [文書・メール] 24(土) R2本部役員会④ [ZOOM] 30(金) R3ブロック・支部助成金申請期限(前期)	1(木) R2 年度修了生・卒業生, 新入生の個人 1(木) 情報データ調査 Hyokyo-net 新ページ公開 30(金) R2 共同研究報告, R3 共同研究申請期限
5月	10(月) R3予算配分委員会(前期) [メール] 22(土) R2本部役員会⑤ [ZOOM] 28(金) R3総会, 全国研究会【北海道大会】案内, 同窓会報45号等送付(修了生全員) 31(月) R2会計監査	28(金) 大学関係資料等送付(修了生全員) 28(金) 共同研究選定委員会

<その他>

- ① 専門部会および各支部の総会・研究会を随時開催した。
- ② 兵庫教大学教育実践ネットワーク(Hyokyo-net)を全面的にリニューアルし大学ホームページに組み入れた。
- ③ 同窓会に関する情報をWeb(Hyokyo-net)やメールを活用して積極的に発信した。
- ④ 会員情報を修了生・卒業生連携センター(同窓会事務局)で管理した。
- ⑤ 会員情報の変更をWeb(Hyokyo-net)で案内するとともに、メールで常時受け付けた。
メールアドレス: office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp

令和元・2年度 ブロック・支部活動報告

令和元年6月～令和3年5月

※役員会，打合せ会，懇親会等は記載しておりません。

※令和2年度は総会冊子を作成しておりませんので、令和元年度と令和2年度の2年間分を掲載しました。

年 月 日	支部・ブロック	活動内容	場 所
R1. 8月	3(土)	近畿①ブロック・兵庫県支部 総会・第39回全国研究大会【兵庫大会】	姫路商工会議所
	4(日)	巡検(姫路城散策)・ゴルフ大会	姫路城・福崎東洋GC
	10(土)	北海道支部 総会・研修会	ホテルライフオーポート札幌
	10(土)	岐阜県支部 第37回いちい会総会・研修会	美濃加茂市生涯学習センター
	11(日)	愛媛県支部 愛媛うれしの会総会・研修会	松山市奥道後壺湯の守
	18(日)	和歌山県支部 総会・研修会	和歌山県民文化会館
	31(土)	山口県支部 総会・研究会	下関市
9月	14(土)	島根県支部 第1回松江ブロック研修会	島根県民会館
	28(土)	東中国・四国ブロック・高知県支部 ブロック研究会	龍馬の生まれた町記念館
11月	9(土)	宮城県支部 第32回宮城県人会うれしの会総会	仙台市
	16(土)	島根県支部 第2回松江ブロック研修会	島根県民会館
	30(土)	奈良県支部 総会・研修会	ホテルリガーレ春日野
12月	28(土)	広島県支部 総会・研修会	エソール広島
R2. 1月	4(土)	岩手県支部 教育・学びの未来を創造するスクール・プラ ットフォーム岩手大会	サンセール盛岡
	4(土)	岡山県支部 岡山会総会・研究会・懇親会	ピュアリティまきび
	11(土)	大阪府支部 大阪府支部 施設見学会	大阪市立愛珠幼稚園
	18(土)	鳥取県支部 鳥取県同窓研究会	エキパル倉吉
	18(土)	島根県支部 第3回松江ブロック研修会	島根県民会館
2月	15(土)	大阪府支部 冬季教育懇談会	大阪市難波生涯学習センター
	22(土)	宮崎県支部 支部総会、研修会・懇親会	あかね屋
3月	21(土)	島根県支部 第4回松江ブロック研修会	島根県民会館
5月	23(土)	島根県支部 第5回松江ブロック研修会	島根県民会館
7月	18(土)	島根県支部 第6回松江ブロック研修会	島根県民会館
8月	8(土)	北海道支部 支部研修会	旭川大学
	16(日)	和歌山県支部 支部総会	リモート開催
	29(土)	山口県支部 第37回総会・研究発表会	周南市シビック交流センター
9月	19(土)	島根県支部 第7回松江ブロック研修会	島根県民会館
11月	21(土)	島根県支部 第8回松江ブロック研修会	島根県民会館
R3. 1月	30(土)	島根県支部 第9回松江ブロック研修会	島根県民会館
3月	13(土)	島根県支部 第10回松江ブロック研修	島根県民会館
	27(土)	北海道支部 支部研修会及び北海道支部総会	札幌市
5月	29(土)	島根県支部 第11回松江ブロック研修会	島根県民会館

令和2年度 兵庫教育大学大学院同窓会 第39期会計決算報告(案)

自 令和2年6月1日 ~ 至 令和3年5月31日

(収入の部)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	3,450,000	3,374,120	△ 75,880	同窓会費 225名分
繰越金	1,393,788	1,393,788	0	令和元年度繰越金
売上金	0	0	0	
雑収入	0	26	26	預金利息
合計	4,843,788	4,767,934	△ 75,854	

(支出の部)

款	項	目	予算額	決算額	増減	備考
総務部	役員会費		505,000	0	505,000	会議がすべてリモートとなったため。
		渉外費	500,000	0	500,000	
	事務費	需用費	5,000	0	5,000	
		通信費	0	0	0	
		旅費	0	0	0	
		会議費	0	0	0	
会計部	事務費		20,000	0	20,000	会計事務を事務局に移管したため。
		需用費	5,000	0	5,000	
		通信費	13,000	0	13,000	
		旅費	2,000	0	2,000	
		会議費	0	0	0	
研究部	印刷製本費	実践研究費	235,000	159,720	75,280	
			200,000	159,500	40,500	
	事務費	需用費	10,000	220	9,780	
		通信費	10,000	0	10,000	
		旅費	10,000	0	10,000	
		会議費	5,000	0	5,000	
広報部	会報印刷費		206,000	119,504	86,496	会報は例年の半分の4ページで作成
		印刷費等	200,000	119,064	80,936	
	事務費	需用費	1,500	440	1,060	
		通信費	2,500	0	2,500	
		旅費	1,000	0	1,000	
		会議費	1,000	0	1,000	

款	項	目	予算額	決算額	増減	備考	
組織部	活動推進費	ブロック会議経費	405,000	184,180	220,820		
		支部活動助成金	100,000	0	100,000		
	事務費	需用費	300,000	180,000	120,000		
		需用費	5,000	4,180	820	振込手数料	
		通信費	0	0	0		
		旅費	0	0	0		
会議費	0	0	0				
事務局費	渉外費	渉外費	660,000	76,112	583,888		
	印刷費	同窓会冊子印刷費	10,000	2,112	7,888		
	旅費	会議出席交通費	80,000	43,970	36,030		
	事務費	旅費	会議出席交通費	400,000	0	400,000	リモート開催
		需用費	需用費	120,000	30,030	89,970	
		通信費	通信費	10,000	0	10,000	
		旅費	旅費	0	0	0	
会議費	会議費	40,000	0	40,000			
総会運営費			200,000	52,187	147,813	準備費	
院生協活動助成費			100,000	100,000	0		
寄附金「兵庫教育大学研究助成金」			1,000,000	1,000,000	0		
小計			3,331,000	1,691,703	1,639,297		
予備費			1,512,788	0	1,512,788		
	繰越金他		1,512,788	0	1,512,788		
合計			4,843,788	1,691,703	3,152,085		
<p>○収入決算合計 4,767,934 円 支出決算合計 1,691,703 円 差引 3,076,231 円 差引残高の 3,076,231 円は、第 40 期会計の収入（繰越金）に充てます。</p> <p>○兵庫教育大学大学院同窓会運営積立金は次のとおりです。 定額預金 10,193,158 円 平成 29 年 6 月 5 日預入（定額預金 10 年満期）</p> <p>以上報告いたします。</p> <p style="text-align: right;">兵庫教育大学大学院同窓会 会 長 新居 寛 同 会計部長 佐々木 勇</p>							
監査報告							
<p>上記の第 39 期会計決算報告及び運営積立金会計を監査した結果、正確であることを認めます。</p> <p>令和 3 年 5 月 31 日</p> <p style="text-align: right;">兵庫教育大学大学院同窓会 監事長 北山 鎮道 同 監 事 田中 嘉明 同 監 事 中園大三郎 同 監 事 毛利 直巳</p>							

令和3年度 兵庫教育大学大学院同窓会事業計画（案）

※会議等の後の〔 〕は会議の形式または場所

年 月 日		全体行事・専門部等事業	大学との連携事業	
R3. 6月	上旬 上旬 上旬 19(土)	第39期会計決算報告(案)作成 第40期会計予算(案)作成 教育実践研究論文集Vol.2編集 定例役員会 [ZOOM・メール・郵送]	7(月)	修了生・卒業生連携センター会議① (以下「センター会議」と記述) [ZOOM] /R3 共同研究採択者, 教育実践研究活動に係る被表彰者決定
7月	中旬 中旬 31(土)	教育実践研究論文集Vol.2発行・Web掲載 退任役員への感謝状・記念品および教育実践研究に係る表彰状・記念品送付(希望者) R3大学院同窓会総会・第40回全国研究大会【北海道大会】/退任役員感謝状贈呈	31(土)	教育実践研究活動に係る表彰式
8月	上～中旬	同窓会報編集計画, 記事収集	初旬	共同研究論文集「学校教育コミュニティ第11号(電子版)」編集
9月	30(木)	R3ブロック・支部助成金申請期限(後期)	下旬 下旬 下旬	大学院同窓会研究助成金の採択審査 センター会議② [ZOOM] 共同研究論文集「学校教育コミュニティ第11号(電子版)」発行・Web掲載
10月		R3予算配分委員会(後期) [メール]	上旬	共同研究論文 学術情報リポジトリ登録
11月	13(土) 中旬	本部役員会 [神戸・ZOOM] 「同窓会入会案内(入学者向け)」冊子作成		
12月	上旬 上旬	院生協R3後期総会/事務局長出席 ブロック・支部活動状況調査	初旬	「同窓会入会案内」送付(入学予定者)
R4. 1月	初旬	都道府県別大学院同窓会会員名簿の作成		
2月	初旬 19(土)	ブロック・支部活動状況調査まとめ 本部役員会 [神戸・ZOOM]	中旬 19(土)	大学院同窓会研究助成金による研究成果発表会/事務局長出席 大学院同窓会連携会議 [神戸・ZOOM]
3月	上旬 下旬 31(水)	同窓会報(第46号)発行 学位記授与式/教育実践研究論文集, 同窓会報等配布 R4表彰推薦書・論文提出期限	中旬	センター会議③ [メール]
4月	上旬 上旬 28(木)	入学式/教育実践研究論文集, 同窓会報等配布 被表彰者選考委員会 [文書・メール] R4ブロック・支部助成金申請期限(前期)	上旬 28(木)	R3 年度修了生・卒業生, 新入生の個人情報データ調査 R3 共同研究報告, R4 共同研究申請期限
5月	上旬 中旬 下旬 下旬	R4予算配分委員会(前期) [メール] 本部役員会 [ZOOM] R4総会, 全国研究大会案内, 同窓会報46号等送付(修了生全員) R3会計監査	下旬 下旬	大学資料送付(修了生全員) 共同研究選定委員会

<その他>

- ① 専門部会および各支部の総会・研究会を随時開催する。
- ② 兵庫教大学教育実践ネットワーク(Hyokyo-net)を随時改良する。
- ③ 同窓会に関する情報をWeb(Hyokyo-net)やメールを活用して積極的に発信する。
- ④ 会員情報を修了生・卒業生連携センター(同窓会事務局)で管理する。
- ⑤ 会員情報の変更をWeb(Hyokyo-net)で案内するとともに、メールで常時受け付ける。

メールアドレス: office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp

令和3年度 兵庫教育大学大学院同窓会 第40期会計予算(案)

自 令和3年6月1日 ~ 至 令和4年5月31日

(収入の部)

科目	39期決算額	40期予算額	摘要
会費	3,374,120	3,839,120	257名分
繰越金	1,393,788	3,076,231	39期会計より繰越
売上金	0	0	
雑収入	26	0	
合計	4,767,934	6,915,351	

(支出の部)

款	項	目	39期決算額	40期予算額	備考
総務部	役員会費	渉外費	0	525,000	
		役員会旅費等	0	500,000	役員会旅費等
	事務費	需用費	0	5,000	
		通信費	0	5,000	
		旅費	0	10,000	
会議費	0	5,000			
研究部	印刷製本費	実践研究費	159,720	235,000	
		教育実践研究論文集作成費	159,500	200,000	教育実践研究論文集作成費
	事務費	需用費	220	10,000	
		通信費	0	10,000	
		旅費	0	10,000	
会議費	0	5,000			
広報部	会報印刷費	印刷費	119,504	215,000	
		同窓会報作成費	119,064	200,000	同窓会報作成費
	事務費	需用費	440	1,500	
		通信費	0	2,500	
		旅費	0	10,000	
会議費	0	1,000			

款	項	目	39期決算額	40期予算額	備考
組織部	活動推進費	ブロック会議経費	0	100,000	
		支部活動助成金	180,000	300,000	
	事務費	需用費	4,180	6,000	
		通信費	0	2,000	
		旅費	0	30,000	
		会議費	0	5,000	
				76,112	440,000
事務局費	渉外費	渉外費	2,112	10,000	慶弔費等
	印刷費	同窓会冊子印刷費	43,970	150,000	総会冊子、同窓会案内等
	旅費	会議出席交通費	0	20,000	会計監査等
	事務費	需用費	30,030	200,000	感謝状・表彰状・記念品等
		通信費	0	10,000	
		旅費	0	10,000	
		会議費	0	40,000	
総会運営費			52,187	500,000	北海道大会運営費
院生協活動助成費			100,000	100,000	
夢をつなぐ緊急募金（新型コロナ対応）			0	1,000,000	困窮学生支援・大学に寄附
寄附金「兵庫教育大学研究助成金」			1,000,000	1,000,000	大学に寄附
小計			1,691,703	4,458,000	
予備費			0	2,457,351	
	繰越金他		0	2,457,351	
合計			3,054,451	6,915,351	
上記のとおり提案します。					
令和3年7月31日					
兵庫教育大学大学院同窓会 会長 新居 寛 同 会計部長 佐々木 勇					

兵庫教育大学大学院同窓会会則（改正案）

（昭和 57 年 2 月 24 日制定）

第1章 総 則

第1条 この会は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下「本会」という。）と称する。

第2条 本会は会員相互の親睦を図るとともに、大学との連携を推進して、学校教育に関する諸問題について意見を交流することを目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達成するための次の事業を行う。

- 1 総会及び研究会の開催
- 2 会報等の発行
- 3 その他本会の目的達成に必要な事業

第2章 会 員

第4条 本会の会員は次のとおりとする。

- 1 正会員
- 2 特別会員

第5条 正会員は兵庫教育大学大学院修了者及び在学者とする。

第6条 特別会員は兵庫教育大学に在職又は在職した教職員とする。

第3章 役 員

第7条 本会に次の役員を置く。

- | | | |
|---|--------|---------------------------|
| 1 | 相談役 | 若干名 |
| 2 | 会長 | 1名 |
| 3 | 副会長 | 2名（別に院生協代表者1名） |
| 4 | 専門部長 | 各部1名 |
| 5 | ブロック長 | 各ブロック1名 |
| 6 | 副ブロック長 | 各ブロック1名 |
| 7 | 理事 | 若干名（同窓会事務局長，院生協代表を含む） |
| 8 | 監事 | 若干名（内1名を監事長とする。） |
| 9 | 支部代表 | 各支部1名 |

第8条 役員の任務は次のとおりとする。

- | | | |
|---|--------|----------------------------|
| 1 | 相談役 | 会務全般の相談に応じる。 |
| 2 | 会長 | 本会を代表し会務を掌理する。 |
| 3 | 副会長 | 会長を補佐する。 |
| 4 | 専門部長 | 本会の運営にあたり、専門部の会務を司る。 |
| 5 | ブロック長 | ブロック内支部間の調整を図り、ブロックの会務を司る。 |
| 6 | 副ブロック長 | ブロック長を補佐する。 |
| 7 | 理事 | 本会の運営にあたる。 |
| 8 | 監事 | 本会の会計及び事業を監査する。 |
| 9 | 支部代表 | 支部の会務を司る。 |

第9条 役員の選出方法は次のとおりとする。

- 1 第7条第1項から第8項の各役員は、役員選考委員会で選考し、総会において承認する。
- 2 支部代表は、各都道府県支部において選出する。支部代表選出に関し必要な事項は、別に定める。

第10条 役員の任期は、2年とする。

ただし、欠員を生じた場合の後任の役員の任期は、前任者の任期の残余の期間とする。

- 2 前項の規定による役員は、再任されることができる。
- 3 会長については、3期（6年）を上限とする。

第4章 役員選考委員会

第11条 役員選考委員は、役員の中から選出する。同選考委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 顧問

第12条 本会に顧問を置くことができる。

第13条 顧問は特別会員の中から若干名を会長が委嘱する。

第14条 顧問は会務に関し会長の諮問に応ずる。

第6章 会議

第15条 総会は正会員をもって構成し本会の重要事項を審議・議決する。

2 総会が開催できない場合は、役員会での審議・議決をもって総会の審議・議決に代えることができる。ただし、以後の総会で報告しなければならない。

第16条 役員会は第7条に規定する役員をもって構成し、本会の重要事項を審議する。

第17条 本部役員会は、第7条に規定する役員のうち、会長、副会長、専門部長、ブロック長、副ブロック長（ただし、専門部を設置していない4ブロック）、~~及び~~監事長、事務局長、院生協代表をもって構成する。

2 本会の重要事項に関して審議し、企画・運営の調整を図るものとする。

第18条 議事はすべて出席者の過半数をもって決する。

第7章 専門部

第19条 第3条に規定する事業を実施するため、専門部を置く。

2 専門部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 ブロック・都道府県支部・部会

第20条 本会はブロックを置く。

第21条 本会は都道府県に支部を置く。

第22条 本会は専攻コースに部会を置く。

第23条 ブロック・支部・部会に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 会計

第24条 本会の経費は会費及びその他の収入をもって充てる。

第25条 正会員は入会時に会費として1万5千円を納める。ただし、納入された会費は返還しない。

第26条 本会の会計は一般会計と特別会計（総会会計）とする。

第27条 本会の会計年度は毎年6月1日に始まり、翌年の5月31日に終わる。

第10章 雑則

第28条 本会則の変更は総会の決議による。

第29条 本会の運営に関し必要な事項は役員会が別に定め、総会に報告する。

第30条 本会の事務局を兵庫教育大学におき、事務局長が事務を統括する。

附 則 本会則は、昭和57年2月24日に制定する。

中略

平成25年8月3日に改正し、平成25年6月1日から適用する。

” 26年8月9日改正

令和元年8月3日改正

令和3年7月31日改正し、令和3年6月1日から適用する。

兵庫教育大学大学院同窓会専門部運営に関する細則

(平成 25 年 8 月 3 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 19 条の規定に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

(専門部)

第 2 条 本会に次の専門部を設ける。

- 1 総務部
- 2 会計部
- 3 研究部
- 4 広報部
- 5 組織部

(専門部の構成・担当ブロック)

第 3 条 各専門部は、部長と理事により構成する。

2 専門部の担当ブロックは、原則として、次のとおりとする。

- (1) 総務部 近畿①ブロック
(滋賀県, 京都府, 兵庫県)
- (2) 会計部 東中国・四国ブロック
(鳥取県, 岡山県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県)
- (3) 研究部 近畿②・近畿③ブロック
(大阪府, 奈良県, 和歌山県)
- (4) 広報部 西中国ブロック
(島根県, 広島県, 山口県)
- (5) 組織部 中部・東海ブロック
(新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 山梨県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県)

(専門部の役割)

第 4 条 本会の目的を達成するため、次の役割を担って専門部会の活動を行う。

- 1 総務部 会務に関する一般事務並びに総会及び諸会議の開催事務に関すること。
- 2 会計部 会計事務に関すること。
- 3 研究部 学校教育の諸問題を主題とした研究会及び研究上の情報交換に関すること。
- 4 広報部 会報の編集及び発行に関すること。
- 5 組織部 組織の整備に関すること。

兵庫教育大学大学院同窓会ブロック組織に関する細則

(平成 24 年 7 月 28 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下「同窓会」という。）会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 23 条の規定に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

(ブロック)

第 2 条 同窓会は、組織の単位として、次の各号に掲げるブロックを置く。

(1) 北海道・東北ブロック

北海道，青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県

(2) 関東ブロック

茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県

(3) 中部・東海ブロック

新潟県，富山県，石川県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県

(4) 近畿①ブロック

滋賀県，京都府，兵庫県

(5) 近畿②ブロック

大阪府

(6) 近畿③ブロック

奈良県，和歌山県

(7) 東中国・四国ブロック

鳥取県，岡山県，徳島県，香川県，愛媛県，高知県

(8) 西中国ブロック

島根県，広島県，山口県

(9) 九州・沖縄ブロック

福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県

(ブロック長及び副ブロック長)

第 3 条 各ブロックにブロック長を 1 人及び副ブロック長を 1 人置き、同窓会理事の中から、役員選考委員会において選考する。

2 ブロック長は、次の各号に掲げる任務を行う。

(1) 各ブロック内での活動の統括・連携及び連絡調整に関すること。

(2) 各ブロック内での支部の活性化及び支部の支援に関すること。

(3) 各ブロックとの連携に関すること。

(4) その他各ブロックに関すること。

3 副ブロック長は、ブロック長を補佐する。

(代表ブロック長)

第 4 条 同窓会長は、ブロック長の中から代表ブロック長を指名する。

2 代表ブロック長は、各ブロック長との連絡調整を行う。

附 則 本規則は、平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

支部代表選出に関する細則

(昭和 59 年 8 月 24 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日より施行）第 9 条第 2 号の規定に基づき、支部代表の選出について必要な事項を定めることを目的とする。

(選出方法)

第 2 条 支部代表の選出方法は次のとおりとする。

- 1 各都道府県支部において、それぞれ 1 名を選出する。
- 2 大阪府支部及び兵庫県支部においては、支部の必要に応じて支部代表を 3 名まで選出できる。
- 3 各支部は、選出した支部代表名を総会までに同窓会事務局へ報告する。報告がない場合は前任者の留任とみなす。

附 則 本細則は平成 9 年 8 月 23 日改正

本細則は平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

役員選考委員会運営細則

(昭和 58 年 8 月 27 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は兵庫教育大学大学院同窓会会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 11 条の規定に基づき、役員選考委員会の運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(任務)

第 2 条 役員選考委員会は次期役員を選考し、役員会で了承を得た後、総会に報告することを任務とする。

(役員選考委員の選出)

第 3 条 役員選考委員は、役員の中から若干名を互選する。

附 則 本細則は、平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

令和2年度 退任役員

長年にわたり同窓会役員をお務めいただき、本会の発展にご尽力くださいました次の方々が、令和2年度末をもって役員を退かれました。本部活動はもとより、支部活動の牽引役としてその功績は非常に大きいものです。これまでのご貢献に深く感謝の意を表します。

また、一定の要件を満たされた方には感謝状と記念品をお贈りいたします。

氏名	支部	期	退任時の役職
生駒 義郎	埼玉	23	関東ブロック理事
手塚 裕	千葉	16	千葉県支部代表
芳村美佐子	大阪	11	近畿②ブロック理事・副ブロック長
山崎 誠	奈良	18	奈良県支部代表
石川 芳己	山口	4	西中国ブロック理事 山口県支部代表
川尻 徳	福岡	9	九州・沖縄ブロック理事・副ブロック長 福岡県支部代表
松川 隆夫	沖縄	17	九州沖縄ブロック理事 沖縄県支部代表



令和3年度

兵庫教育大学大学院同窓会 全国研究大会

開催日 令和3年7月31日(土)
於 ホテルライフオーブ札幌・オンライン

大会次第

7月31日(土)

1. 開会行事 13:50
 - (1) 主催者挨拶
 - (2) 来賓挨拶・来賓紹介

2. 教育実践活動等に係る表彰 14:20

3. 学長講話 15:00
「これからの日本の教育と兵庫教育大学」
兵庫教育大学学長 加治佐 哲也 氏
4. 教育実践発表 15:30
 - (I) 「指導主事としての嬉望」
発表者：帯広市教育委員会 学校教育指導課 統括指導主事 傳法谷 肇 氏
 - (II) 「コロナ禍だからこそ。学校改善の事例研究」
発表者：小樽市立朝里中学校 校長 森 万喜子 氏

5. 記念講演 16:20
“居場所”を届けて ～君の椅子プロジェクトの16年～
講師：公益財団法人北海道文化財団理事長 磯田 憲一 氏

6. 閉会行事 17:50～

ともに学び続ける教育への情熱を

北海道大会実行委員長 水野 和男

「皆さま、ようこそ北海道へ。心より歓迎いたします。」と対面でメッセージを伝えたかった北海道大会ですが、1年間の延期を経て、この度ハイフレックスで無事開催することができました。同窓会及び大学関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

北海道は今、ラベンダーも咲き誇り1年で一番良い季節を迎えています。全国の同窓生の皆様にリアルに感じていただけないのは誠に残念ではありますが、本日の研究大会で新たな学びを得るとともに、同窓生同士のネットワークがさらに広がっていくことを心から願っています。

私たちの母校である兵庫教育大学は新構想の教育大学として昭和53年に創立され、40有余年の歴史を刻んできました。これまでの大学院修了生は1万人を既に超え、全国各地の教育機関や研究機関などで、トップリーダーあるいは実践的リーダーとして活躍しています。コロナ禍における学びの保障など教育環境が大きな課題に直面しているなか、私たち同窓生の役割は益々高まっています。同窓生が全国各地で活躍していることの証左となる、大学から遠隔の地、北海道で全国大会を開催することで、今後の教育と私たちの果たすべき役割について考え、ともに学び続ける教育への情熱を一層高めたいと思います。



教育実践研究活動等に係る受賞者

本表彰は平成 22 年から実施しています。兵庫教育大学大学院学校教育研究科の修了生本人または構成員とする団体の教育実践研究活動等における顕著な成果や功績に対して、学長と同窓会長の連名で表彰を行うものです。令和 2 年度は 4 名、令和 3 年度は 5 名が受賞されました。

■令和 2 年度

推薦

賞	氏名	主な教育実践研究活動	専攻・コース・期
嬉野賞	山谷 敬三郎 (北海道)	学校法人北翔大学理事 学長 北海道教育委員会教育相談スーパーバイザー、日本学校心理士会会長を歴任し、社会貢献活動も積極的にされています。「教授・学習過程における教育方法・技術とコーチングモデルの統合に関する研究」で博士号を取得するとともに、その普及と実践に尽力されました。	学校教育専攻 教育基礎コース 3 期
奨励賞	橋本 美彦 (愛知県)	中部大学 現代教育学部現代教育学科 特任准教授 中部教育実践研究会を主宰。理科授業について多数の論文を発表。教職教養に関する著書も多数執筆されています。	学校教育専攻 教育経営コース 7 期

論文（奨励賞）

氏名	論文のテーマ	専攻・コース・期
大島 浩 (栃木県)	1. 生徒実験としてのアボガドロ数算出の評価 2. 寺田物理学の位相	教科・領域教育専攻 自然系コース(理科) 3 期
井上 万紀 (兵庫県)	特別支援教育におけるわかってできる音楽の授業	教育実践高度化専攻 生徒指導実践開発コース 33 期

■令和 3 年度

論文（奨励賞）

氏名	論文のテーマ	専攻・コース・期
富坂 耕次 (静岡県)	中学生の幾何学的思考水準の進展を促す授業 ～van Hiele の学習水準理論に着目して～	教科・領域教育専攻 自然系(数学)コース 9 期
井上 万紀 (兵庫県)	音楽紙芝居の実践と効果 ー子育て支援ルームと特別支援学校での教材開発ー	教育実践高度化専攻 生徒指導実践開発コース 33 期
仲井 勝巳 (埼玉県)	小学 2 年生における特別の教科「道徳」の授業法に関する研究 ー主体的・対話的で深い学びを目指した 1 年間の実践からー	人間発達教育専攻 教育コミュニケーションコース 33 期
白川 正樹 (東京都)	学校を主体とした第三者評価の全国的普及の推進に係る課題と展望 ー日本・イギリス・アメリカ・ニュージーランドの第三者評価の比較ー	教育実践高度化専攻 学校経営コース 35 期
出村 雅実 (茨城県)	総合的な学びが深まるハイフレックス型授業の実践について ー大学 1 年生への実践記録からー	教科・領域教育専攻 自然系(理科)コース 29 期

学長講話

「これからの日本の教育と兵庫教育大学」

兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也 氏

<メモ>



教育実践発表（Ⅰ）

「指導主事としての嬉望」

発表者：帯広市教育委員会 学校教育指導課 統括指導主事 傳法谷 肇 氏

<メモ>



教育実践発表（Ⅱ）

「コロナ禍だからこそ。学校改善の事例研究」

発表者：小樽市立朝里中学校 校長 森 万喜子 氏

<メモ>



記念講演

演題 “居場所”を届けて ～君の椅子プロジェクトの16年～

講師 公益財団法人北海道文化財団理事長 磯田 憲一 氏

<メモ>



夢をつなぐ

緊急募金のお願い



兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也

同窓会の皆様、日頃から兵庫教育大学の教育研究に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、これまでに兵庫教育大学基金へ多くのご寄附をいただき、改めて感謝いたします。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、保護者等の家計急変やアルバイト収入の減少により窮地に立たされている学生がいます。本学では、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクト」を立ち上げ、経済支援を行っていますが、長期的な支援が必要となることが予想されるため、緊急募金をお願いすることとしました。

皆様におかれましても、大変厳しい状況下でのお願いになりますが、全ての学生の教職をはじめとする将来の夢をつなぐために、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

募金の方法

添付の「兵庫教育大学基金 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクト」専用の振込用紙を用いて、郵便局（ゆうちょ銀行）からお振り込みください。

振込手数料は大学負担となります。

【募金額】一口あたりの金額は、特に定めておりません

【募金の用途】学生への緊急的な経済的支援（学費の一部免除等）

これまでに実施した支援の例

- ・授業料の一部免除
- ・実習等における PCR 検査費用の補助
- ・授業料の納付期限の延期、徴収猶予
- ・タブレット端末の購入費用の補助

その他

【税制上の優遇措置について】本基金は、税制上の優遇措置を受けることができます。

詳しくは、兵庫教育大学緊急募金ホームページをご覧ください。

https://www.hyogo-u.ac.jp/covid19_kikin_project.php

【本プロジェクトの他、本学にご支援いただける方へ】詳しくは、裏面をご覧ください。

【問合せ先】兵庫教育大学基金事務局（総務企画課内）

TEL : 0795-44-2007

E-mail : gen-kikin@ml.hyogo-u.ac.jp



<その他のご案内>

本学では、夢をつなぐ緊急募金以外にも以下のように、募金を行っております。一層の教育研究活動の推進に資するため、兵庫教育大学基金へのご協力をよろしくお願いいたします。

その他の主な事業

①学生への修学支援事業

経済的理由により修学困難な学生に対する授業料の減免、奨学金の貸与及び給付、海外留学に係る渡航費用の一部補助並びにリサーチ・アシスタント又はティーチング・アシスタントとしての雇用

②学生への育英事業

成績が優秀な学生（①により、奨学金の貸与又は給付の対象となる者を除く。）に対する奨学金の給付

③グローバル化推進事業

学生（①により、渡航費用の一部補助を受ける者を除く。）の海外留学に係る渡航費用の一部助成及び外国人留学生に対する奨学金の給付

④本学の教員又は大学院生に対する研究支援事業

本学の教員又は大学院生に対する研究支援

⑤卒業生・修了生との連携活動事業

本学の卒業生・修了生と連携した研究活動への支援

⑥教育研究環境整備事業

教室、学生宿舎等の施設・設備の整備及びその他教育研究環境の整備

⑦その他基金の目的達成に必要な事業



ご寄附の方法

兵庫教育大学基金ホームページの基金申し込みフォームからお申込みください。

https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin_h290301.php

【寄附金額】一口 3,000 円（何口でも結構です。）



あとがき

同窓生、関係者のみなさま、2年越しになりました第40回 兵庫教育大学大学院同窓会総会、および、全国研究大会に参加いただき、誠にありがとうございます。

本来は、年に1度の全国大会での互いの学び合い、懇親の場として、2020年にこの北海道の地に、しかもオリンピックのマラソンコースに隣接した会場へたくさんの方をお迎えして開催するところでした。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、WEBを活用した初となるハイフレックスの開催となりました。現地での対面参加と全国各地からのオンライン参加という今回の大会が今後の全国研究大会の実施の参考となれば幸いです。

いずれにいたしましても、本研究大会が同窓生一丸となり、兵庫教育大学大学院同窓会はもとより兵庫教育大学、大学院とも連携し、益々の発展の機会となることを願います。

むすびになりますが、本大会を開催するにあたり、準備から当日の運営まで熱心にご協力いただきました大学院同窓会役員のみなさま、北海道支部のみなさま、会場を提供していただきましたホテルライフオート札幌のみなさまに篤く感謝申し上げます、あとがきとさせていただきます。

兵庫教育大学大学院同窓会 北海道支部
事務局長 一町田 昌哉





兵庫教育大学大学院同窓会

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1

電話 0795-44-2406 2375

F A X 0795-44-2376

E-mail office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp